

事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

本年度は財政状況の厳しい中で各事業が滞りなく行なわれるよう基本的な事業に取り組んで参りました。

研究助成事業は、サウンド技術振興部門に55件の応募がありその中から10件、また音楽振興部門は16件の応募がありその中から7件に助成金を交付致しました。

音楽普及支援等事業は、本年度助成テーマから3件を選んで講演会を開催致しました。

講演会等事業は、本年度助成テーマから5件を選んで講演会を開催致しました。

機関誌「サウンド」は、第28号を発刊し、本年度助成受賞者から6名の方々に執筆を頂くと共に、今日までの助成研究テーマ等を掲載して広報に努めております。

以下、事業経過の概況をご報告申し上げます。

1. 研究助成事業

1) 平成24年度研究助成

平成23年12月より平成24年2月29日までを期間とし、全国の国公立大学、私立大学等の試験研究機関及び過去の助成申請者等650件余へ機関誌「サウンド」第27号と助成案内を送付して募集活動を行なうとともに、音響学会誌、電子情報通信学会誌等及び財団ホームページを通じて広報に努めた。

その結果サウンド技術振興部門は37の大学等研究機関より55件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月9日の審査委員会にて10件を選定した。

音楽振興部門は12の大学等研究機関より16件ののぼる応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月14日の審査委員会にて7件を選定した。

理事長にこれを報告し承認を得て、平成24年6月11日東京ガーデンパレスにおいて助成金贈呈式を行なった。

助成金対象者は次の通りである。(所属・役職は申請当時、応募受付順)

【サウンド技術振興部門】

- (1) 子供の創造的音楽活動を支援する情報環境の実現と身体的インタラクションの有効性検証
電気通信大学 大学院 情報システム学研究科 助教 市野 順子
- (2) 音声のフィードバックがボイストレーニング効果に与える影響に関する研究
宇都宮大学 大学院 工学研究科 准教授 長谷川光司
- (3) 気流中を伝播する騒音の特性に関する研究
名古屋大学 大学院 工学研究科 機械理工学専攻 助教 寺島 修
- (4) 複数送受音素子を用いた位相干渉に基づく音響イメージングによるロボットセンサの開発
近畿大学 生物理工学部 研究員 中山 雅人
- (5) ヒト聴覚の時間、空間、音声の認識に共通する無音の役割
九州大学 システム情報科学研究院 情報学部門 教授 森 周司
- (6) 歌唱の音程調整にかかわる聴覚-運動モニタリング機構の解明
国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 室長 軍司 敦子
- (7) 超低周波音波計測を用いた巨大津波検知の研究
首都大学東京 システムデザイン学部 准教授 大久保 寛
- (8) 保育空間の室内吸音による喧噪感の緩和に関する実証的研究
熊本大学 大学院 自然科学研究科 准教授 川井 敬二
- (9) 音波の気柱振動を用いたワイヤレスモータの開発と血管内治療への応用
豊橋技術科学大学 特任助教 真下 智昭
- (10) 骨格筋収縮に伴う音の伝播速度による筋スティフネスの計測
鹿屋体育大学 スポーツ生命科学系 准教授 吉武 康栄

【音楽振興部門】

- (1) シンガポールの南音：形成、担い手たち、音楽の伝承とそれに関わる海外ネットワーク

東京藝術大学 総合芸術アーカイブセンター 大学史史料室 特別研究員
伏木 香織

- (2) 〈音〉の感受を強化する指導が、多様な音楽への児童の興味を誘発する可能性の実証的研究

明星大学 教育学部 教授 阪井 恵

- (3) マーラーとシェーンベルクの相互影響の考察

東京藝術大学 大学院 音楽研究科 博士後期課程 佐野 旭司

- (4) ワイヤー録音によるウイグル古典音楽ムカームの復元研究

日本学術振興会 外国人特別研究員 アブドセミ・アブドラフマン

- (5) 日本電子音楽の特質～60年の歴史検証を通して～

東京藝術大学 音楽学部 音楽環境創造科 教授 西岡 龍彦

- (6) 音楽を学ぶ幼児の体力や日常の身体活動量は高いか？

桜美林大学 総合科学系 専任講師 田中 千晶

- (7) 北インド 古典音楽の即興演奏における創造性—経験的獲得と指導的学習の結実としての演奏実践

東京藝術大学 音楽学部 教育研究助手 丸山 洋司

2) 助成研究成果報告概要の配信

平成23年度助成対象者からの助成研究結果報告をとりまとめ、財団ホームページから配信した。

3) 平成25年度研究助成募集活動

平成24年12月より平成25年2月28日を締切日とし国公立大学及び主な私立大学のほか過去の助成申請者等に対して募集活動を実施した。

2. 音楽普及支援等事業

1) 研究助成受賞者講演会開催

名 称 第2 回音楽普及支援等事業

後 援 経済産業省

期 日 平成24 年10 月9 日(火)

会 場 カワイ表参道 2 階 コンサート サロン パウゼ

参加者 約50 名

演 題 平成24 年度研究助成テーマより

【音楽振興部門】

「音楽を学ぶ幼児の体力や日常の身体活動量は高いか？」

桜美林大学 総合科学系 准教授 田中 千晶氏

【音楽振興部門】

「シンガポールの南音：形成、担い手たち、音楽の伝承とそれに関わる
海外ネットワーク」

東京藝術大学 総合芸術アーカイブセンター 大学史史料室
特別研究員 伏木 香織氏

【サウンド技術振興部門】

「歌唱の音程調整にかかわる聴覚－運動モニタリング機構の解明」

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
室長 軍司 敦子氏

(講演順)

3. 講演会等事業

1) 研究助成受賞者講演会開催

名 称 第24 回研究助成講演会

後 援 経済産業省、浜松市、浜松商工会議所

期 日 平成25 年1 月15 日(火)

会 場 アクトシティ浜松研修交流センター 6 階 62 研修交流室

参加者 約70 名

演 題 平成24 年度研究助成テーマより

【サウンド技術振興部門】

「保育空間の室内吸音による喧噪感の緩和に関する実証的研究」

熊本大学 大学院 自然科学研究科 准教授 川井 敬二氏

【音楽振興部門】

「〈音〉の感受を強化する指導が、多様な音楽への児童の興味を誘発する可能性の実証的研究」

明星大学 教育学部 教授 阪井 恵氏

【サウンド技術振興部門】

「音声のフィードバックがボイストレーニング効果に与える影響に関する研究」

宇都宮大学 大学院 工学研究科 教授 長谷川光司氏

【サウンド技術振興部門】

「骨格筋収縮に伴う音の伝播速度による筋スティフネスの計測」

鹿屋体育大学 スポーツ生命科学系 准教授 吉武 康栄氏

【音楽振興部門】

「北インド古典音楽の即興演奏における創造性—経験的獲得と指導的学習の結実としての演奏実践」

東京藝術大学 演奏藝術センター 教育研究助手 丸山 洋司氏

(講演順)

4. 情報の提供等事業

平成24年度研究助成対象者である九州大学 大学院 教授 森周司氏ほか2名、首都大学東京 准教授 大久保 寛氏、立命館大学 助手 中山 雅人氏、東京藝術大学 教授 西岡 龍彦氏、東京藝術大学 非常勤講師 アブドセミ・アブドラフマン氏、東京藝術大学 博士後期課程 佐野旭司氏から執筆を頂き、機関誌「サウンド」第28号を編集し、平成25年1月に発行して大学等関係機関、図書館、過去の助成申請者等700件に配布した。

5. 評議員会・理事会等の開催

1) 第3 回理事会

(1) 期日及び場所

平成24年5月21日(月) 東京ガーデンパレス

(2) 附議事項

第1号議案 平成23年度事業報告(案)・収支計算(案)の承認に関する件

第2号議案 平成24年度収支予算の修正に関する件

第3号議案 評議員会招集に関する件

第4号議案 参与の選任に関する件

第5号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号から第4号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第5号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 鷺津 有一氏 河崎 哲男氏

2) 第2 回評議員会

(1) 期日及び場所

平成24年6月11日(月) 東京ガーデンパレス

(2) 附議事項

第1号議案 平成23年度事業報告(案)・収支計算報告(案)の承認に関する件

第2号議案 平成24年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認に関する件

第3号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号、第2号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第3号議案については、議長が提案を行い、異議なく全会一致で選任され、両評議員もこれを了承された。

議事録署名人 花田 修治氏 大津 展之氏

なお、この折り平成24年度研究助成金の贈呈式を併催した。

3) 第4 回理事会

(1) 期日及び場所

平成25年3月13日(水) カワイ表参道 パウゼ

(2) 附議事項

第1号議案 平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件

第2号議案 参与の選任に関する件

第3号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号、第2号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第3号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 鷺津 有一氏 河崎 哲男氏

6. 庶務事項

1) 内閣府への提出書類

(1) 平成24年6月22日付けで電子申請した公益目的支出計画実施報告書等の提出に係る申請書類のうち、次のものを書面により提出した。

①当該事業年度の貸借対照評及び付属明細書

②当該事業年度の損益計算書及び付属明細書

③当該事業年度の事業報告及び付属明細書

④当該事業年度の監査報告、会計監査報告